

市長 みなさま新年あけましておめでとうございます。みなさまには穏やかなお正月をお迎えのこととお慶び申し上げます。

議長 年頭に当たり、市議会を代表して謹んで新年のご挨拶を申し上げます。みなさまにおかれましては、希望に満ちた平成30年の新春を晴れやかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

これまでを振り返って

議長 市長は任期も残すところ半年となりましたが、これまでを振り返っていかがですか？

市長 そうですね、振り返ってみますと、多くの市民のみなさまの笑顔と握手、たまにはハグにも励まされて、駆け抜けることができました。

父の訃報から始まった挑戦は、21844票というむつ

ひとりひとりがつながり、分かち合う。 新たな挑戦は、そこから始まる。

市長選挙始まって以来のご期待をいただき、若さと行動力という自らに課した責任を果たすべく、新たな希望を見いだすものでした。殻をやぶって新しいものを生み出すのは、内側からの力だけではなく、外側からもコツンと叩いてもらうことも必要なことを学びました。協力していただいた全ての市民のみなさまに感謝申し上げます。むつ市長になって、「むつ市に生まれ育ってよかった」と実感しています。

議長 「新しいものを生み出すには」とおっしゃいました。市長にとって、下北ジオパークは大きい出来事だったのではないですか？

市長 そうですね。一昨年の9月、会場を埋め尽くす市民の方々に前に認定を告げる電話を受け、その事実を伝えたとき、喜びが広がり、参加した小学生たちは感動を豊か

に表現していました。多くの可能性を秘めながらも一歩抜きんでることがなかった下北が、全国的に価値があると認められた瞬間。市長就任初年度には認定されなかったということもあり、多くの人たちが立ち上がり、達成した成果としておそらく一生心に残るでしょう。

なによりもこのとき、市長という仕事の本質を理解したような気がしました。それは、「分かち合う」ということです。このときは、感動を分かち合いました。歓喜の輪が文字通りリアルに広がりが会場にいる全ての人たちとつながり、心を分かち合いました。一番隅っこには小さな前市長の遺影を控えめに持ってくれていた女性職員がいました。時間も超えて思いを分かち合ったとも言えます。

議長は、昨年10月の臨時会で就任され初めての新年を迎え

こども議会」では、市内の中学1年生17名のこども議員が、インターネットによるいじめを根絶していこうという「ネットいじめ防止の約束提案書」について活発な討論を行い、更に市政に対し6名のこども議員が一般質問を行いました。真剣に取り組む姿に感動するとともに、この地域をより良くするための堂々とした質問や発表を非常に頼もしく感じたのは、私だけではなかったと思います。むつ市議会としましては、引き続き関係機関と一丸となって、みなさまの笑顔につながる活動を強力に展開します。

議長 改めてその職責の重さを肝に銘じ、市民目線での議会運営に努める決意を新たにしています。地方分権が進み、議会の果たす役割や活動が、ますます重要になってきているなかで「むつ市議会基本条例」の理念に基づき、積極的な情報発信と政策活動への市民参加の推進を念頭に、公平・公正な議会運営に努める所存です。

市長からもこれからの抱負をお聞かせください。

市長 これまで、シティプロモーションでは生産者の方々と情熱を、子供たちの全国大会出場報告では緊張を、海上自衛隊の護衛艦の海外からの帰国行事では喜びを、それぞれ分かち合いました。ありとあらゆる行事や会合、各地でのお祭り、講演会などでも本場に多くの方々を心を通わせることができました。

生前、前市長から「むつ市民は家族だと思いなさい」と言われたことがあります。国家公務員であった私に対する訓辞だったとは思いますが、今その意味を深く理解します。

議長 はい。まちづくりの主役は市民のみなさまであることを念頭に置き、誰もが「むつ市に住んで良かった、そしてこれからも住み続けたい」と思えるよう議会運営に全力を注ぎますので、一層のご支援ご協力をお願いいたします。

こうして考えてみると、市民のみなさまと分かち合った気持ちの全てが自分の原動力になり、同時に市政の原動力になっていると確信しています。

議長 笑顔かがやくすばらしい一年へ

11月に開催された「むつ市

う一年となるよう頑張りました。

議長 すべてはむつ市のためです。頑張りましょう。

市長・議長 みなさまにとりまして、笑顔かがやく素晴らしい一年になります。心からご祈念いたします。



むつ市議会議長 白井 二郎



むつ市長 宮下 宗一郎